

令和5年3月号(301号)
(皇紀2683年) 毎月1日発行

新風

編集人 川畑賢一

発行人 魚谷哲央
年間購読料 2,000円

維新政党・新風本部
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル
第2ふじビル4階
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800
<https://shimpu.jpn.org/>
otayori@shimpu.jpn.org

百年目のぐらつき

～共産党とは一体、何者か?～

尚美学園大学名誉教授 梅澤昇平



日本共産党は、結成(大正十一年＝西暦一九二二年)百年目を迎へ、ぐらつきについてさうとしか思へない。共産党の下部から集中的な批判攻撃を浴びながら、それを一蹴できないでゐたが、つひに二月六日に「除名」処分にした。しかし、それは党内の言論の自由を封じるものだ、朝日新聞、毎日新聞がそれぞれ「社説」で指摘。共産党は、四月の統一地方選挙を前にして早く收拾したいだらうが、どうやら長期戦になる雲行きだ。

除名騒動

昨年末に共産党批判の本が三冊まとめて出た。「共謀」してである。松竹伸幸「シン・日本共産党宣言」、鈴木元「志位委員長への手紙」、有田芳生ら「日本共産党分析」である。

三月十一日東日本大震災から十二年、被災犠牲者の御霊に哀悼の誠を捧げると共に復興への営みを風化させず、今後予想される様々な大災害に備へませう。

この三冊は、つるんで出された。狙ひは、志位委員長の首を取るのだらう。その

首謀者とみられる松竹伸幸・元政策委員会安保外交部長が「除名」となった。

共産党は、総選挙、参院選挙と負け続け、党員数、機関紙日刊「しんぶん赤旗」部数も最盛時の半減。誰か責任を取れ、だ。世界の中で二十年以上トップの座にゐるのは誰だ。プーチン大統領と志位委員長だ。そこで、党内不満分子は党首公選制を要求、ついでに安保防衛政策の転換を求めている。安保防衛政策の転換とは、共産党の曖昧な政策への批判。特に「自衛隊活用論」への批判だ。自衛隊は憲法違反といつてきた共産党が、緊急の場合は自衛隊を「活用する」なんて、自衛隊を馬鹿にするのほどがある。

民主集中制とは何か

このやうな批判に対して、まづ「しんぶん赤旗」が反論。去年八月二十四日だ。党首公選は、党の分派、派閥活動に通じ、「民主集中制」に反する。「革命党」として、あくまで「民

主集中制」を貫くんだと弁解してゐた。志位委員長も、問はれると、この論文に書いてある通りといふだけだった。あれ！鉄の団結の共産党はどうしたの?と思つたが、二月になつて、やうやく「除名」。

四月の統一地方選挙前にして、いまこんな話題が広がるのはまづいといふ判断で処理したのであらう。

ロシアのウクライナ侵略、中国の台湾恫喝、北朝鮮の暴走など、いづれも共産党とは関係ありません、といつても、みな、かつては共産党の仲間ぢやないのとなる。これにいちいち弁解するのは大変。そこでしばらくだんまりをきめこむといふ戦術だった、さうは行かなくなつた。

エドマンド・バークを持ち出さなくとも、政党は「同じ主義信条を持つものの集団」ではないのか。共産党は、あるときは「革命党」をいひ、あるときは「議会主義政党」といふ。「憲法」を完全に守るといつたり、いやゆくゆくは改憲とか、すぐは自衛隊活用とか、まるで都合主義だ。これはある意味で共産党らしさだ。レーニンも「左翼小児病」で、権力を得るためには、詭弁、ごまかし、なんでもやれといつてゐたではないか。今の共

産党を作り上げた宮本顕治も党内の会議で、革命が暴力的になるかどうかなど、「文章で書くものではない」と党内でいつてきたではないか。

日本共産党は外国製政党

考へてみれば、日本共産党は今でこそソ連批判、ロシア批判をしてゐるが、もとはといへばモスクワの指令によつて百年前につくられた、唯一の外国製政党だ。「コミンテルン(国際共産党)日本支部日本共産党」が正式名だった。ソ連の手下、子分だったのだ。「天皇制打倒」の指令はもとより、規約、資金、それに武器まで渡されてきた政党だ。革命のため、ピストルも渡され射撃練習をしてゐたのだ。その生まれも育ちもモスクワ製の日本共産党が百年にして、生みの親、育ての親を「大義社会主義ではない」「大民主主義だ」と非難し、みづから、それにつながりさうな用語を隠してきた。「革命」も前面に出さず、「前衛」「プロレタリア独裁」なども「誤解される」として後ろに隠した。隠しきれないのが「民主集中制」だ。「上意下達」の軍隊的規律だ。仲間同士で話し合ふことも禁止。縦軸だけ

世界の共産党の実態

今や先進国で共産党はボロボロだ。フランス、イタリアなどの共産党は、いち早く「民主集中制」を放棄。その上、ソ連から長年にわたつて資金援助を受けてきたことも白状した。ところが、日本共産党だけは、民主集中制を捨てず、資金援助も否定してゐる。日本共産党も、もがいてゐるが、「民主集中制」の看板を捨てない限り、若者や市民が近寄れない。これが「死に至る病」だらう。

「民主集中制」を取り入れてゐる国がある。中国、ベトナム、ラオス、北朝鮮の憲法にこれが明記されてゐる。例へば中国憲法では第三条に

しんぶうしゅう 新風驟雨

▼筆者はこのところ、自身が近年知るところとなつた、国連総会決議第一号なるものにとつても拘つてゐる。これは、一九四六年(昭和二十一年)一月にロンドンで開催された国際連合第一回総会において成立した核兵器廃絶の決議第一号のことであるが皆さんはご存じか。▼昭和二十年八月に日本は二発の原子爆弾による攻撃を受け、その直後に降伏したが、この日本を降伏させる決め手となつた原子爆弾といふ兵器を国際連合が約五ヶ月後に否定したのである。これを踏まへても米国は第二次大戦における日米戦(日本名・大東亜戦争)の「問題のない勝者」と云へるのだらうか。▼これを相撲に譬へるとこのやうになる。大東亜戦争は一旦米国の方に軍配が上がつたが、国連がそれに「物言ひをつけた」。時系列的に視れば、この昭和二十一年一月の国連決議以降に占領軍(GHQ)による日本の憲法の改変や東京裁判が行はれたこととなるが、実質的にGHQがこれらの占領行政を行ふ資格があつたのかどうかは甚だ疑はしいのだ。▼筆者の考へは、核兵器の問題は「大東亜戦争の勝敗の問題」と不可分ではないのかといふもので、これを今年五月のG7広島サミット以降、日米間で議論されて行くことを強く期待する。(武)

本紙目次

- 一頁: 百年目のぐらつき
- 二頁: 共産党とは一体、何者か?
- 三頁: 維新政党・新風 第十期 (令和五年七月活動方針他)